



お佛飯を

あげさせていただくことで

無量のおかげさまが

見えてまいりました

鈴木章子著「慈告知のあとで」より



前坊守さまの100歳をご門徒のみなさんでお祝いました 志賀 即生寺にて

ヒダカくん・ひかりちゃんのお話

『御文章』のお話

その12

永原智行

ひかりちゃん 今月からやっと本編の『御文章』に入るわね。長い歴史講義を終えてやっとという感じね。  
ヒダカくん 全部紹介するのは無理なのでオーソドックスなものを抜粋していくよ。

聖人一流の章

聖人(親鸞)一流の御勸化のおもむきは、信心をもつて本とせられ候ふ。そのゆゑは、もろもろの雑行をなげすめて、一心に弥陀に帰命すれば、不可思議の願力として、仏のかたより往生は治定せしめたまふ。その位を「一念発起入正定之聚」(論註・上意)とも釈し、そのうへの称名念仏は、如来わが往生を定めたまひし御恩報尽の念仏とこころうべきなり。あなかしこ、あなかしこ。

◎現代語訳・大意

親鸞聖人のひらかれた浄土真宗のみ教えでは、信心が根本です。そのわけは、自力のはからいを捨て、一心に阿弥陀如来に帰命すれば、思いも及ばないすぐれた本願のはたらきによって、如来が私たちの往生を定めてくださるからです。

往生が定まったその位を、「一念発起入正定之聚」と示されています。そして信心を得た後に称える念仏は、如来が私の往生を定めてくださったご恩を報じる念仏であると思得るべきです。

ヒダカ この聖人一流の章の中心は、阿弥陀仏の本願を信ずる信心一つで救われることなんだ。親鸞聖人の流れをくむ浄土真宗は、信心以外のものを必要としない。さまざまの修行はいらないんだよ。

ひかり 修行はいらないの？

ヒダカ さまざまの修行は「私がする」んだ。もともと「私」とは不完全なものだよ。不完全なものがすばらしい修行をしても所詮は不完全なものなんだ。

ひかり 不完全 私か！完全なものってあるの？

ヒダカ 完全なものこそ阿弥陀さまじゃないか。自分の力を当てにせず、二心なく阿弥陀さまをたよりとすることが大切で、これを「信心」というんだ。(次ページへ)

# 法話 平成から令和へ

今年「平成」から「令和」に元号が改められました。平成最後はいかがお過ごしでしたか？「平成最後」という言葉を何度聞いたことでしょうか。平成最後の報恩講、紅白歌合戦、お正月、おとしだま、お花見、大相撲、高校野球、カラオケ、一杯飲み会・・・

何かにつけ「平成最後の〇〇」と言ってきましたが、なんてことなかったですね。教の読売歌壇（6月3日）に「平成も令和も同じ顔ぶれが居る十連休の喫茶店」と出ていました。最後といながら変わらぬ令和がやってくることを知っています。

近年「終活」と言う言葉が耳につきまます。この「終」は意味が違う。人生の終焉ですね。「終活」とは終わりに向けての活動と理解します。広告・雑誌に「明るい、楽しい終活」と文字が躍ります。本当に？テレビでもご夫婦が笑顔で終活を語ります。でも一人になる日が近いはず。その時楽しい終活ができるだろうか。私にはこの言葉が良い響きには聞こえません。

人生の後始末なんてできっこないと思ってしまう。子どもや孫、近親者のことは昔から考えてきたことじゃなかったでしょうか。それを終わりに向かった活動と追い立てるのはどうだろうと思う。

終・最後というこの言葉は未来を持たない。未来を持たない活動はつらいだけじゃないか。未来、最近、宇宙の銀河・M87にあるブラックホールの撮影に成功したというニュースを見ました。（ウルトラマンの故郷だから今度はウルトラマン家も写真に収められるかも）人類の科学はなんてすごんだ！と思ったことでした。

しかし宇宙の果てまで見渡す人間が明日のこと先のこと誰も解らない現実を生きている。この人間の営みは決して変わることはない。とんでもない事実が起こってくるのが娑婆の世界です。

この世界にあって阿弥陀さまは名号・南無阿弥陀仏と成就され、「我にまかせよ、必ず救う」と今、私の口にこぼれて下さいます。ご一緒下さいませ。

「終わってゆく命、無くなってゆく命」と自ら決め、未来を失ってゆく命が阿弥陀さまの浄土に転換されてゆくのです。必ず救うの「必」の字は未来にかかる言葉です。若い頃自分の未来を想像したことはなかったでしょうか？私はおおよそ想像していたとは違っていたようです。

我々は「必ず」と未来を語りまます。しかし真実なき言葉になってゆきます。ひとつ間違いのないことは「死」が決まっているというところでしよう。どうすることもできない未来がはや決まってしまう。阿弥陀仏の仰せは今、私に至り届き、間違いなき身に仕上げられ、お浄土・お悟り、仏さまという未来を告げて下さいます。

宗祖親鸞聖人は、七高僧の第一祖・龍樹菩薩のご和讃に

生死の苦海 ほとりなし  
ひさしくしずめるわれらをは  
弥陀弘誓のふねのみぞ  
のせてかならずわたしける（高僧和讃）

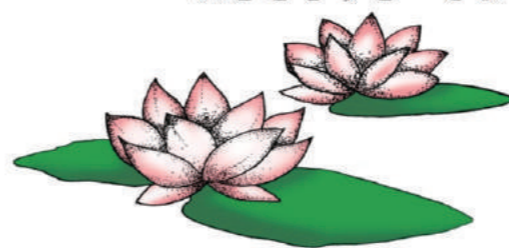
また七高僧の第四祖・道綽禪師の『安樂集』を教行信証・信巻に

この心広大にして法界に周遍せん、  
この心長遠にして未来際を尽くす。  
とお引きになります。

「未来際を尽くす」阿弥陀さまの願心に私は未来の際まで尽くされていきます。

我々は未来を失うとき、自分を見失っていくのではないのでしょうか。人はみな、未来に生きていきます。どのようなことになろうとも、念仏申す我々を「必」の字をもっていつもご一緒、捨て給わぬ阿弥陀さままでございました。

(岩崎法明)



## シリーズ「過疎問題を考える」

妙願寺 楠原晃紹

日高組の本願寺派寺院のなかで、海岸筋に立地する寺院は9割を超えています。当地域の海岸筋の小中学校が合併されたり、自宅の新築時に比較的交通や生活の利便性が高い土地を求めたりして、急速に漁村集落の人口が減少し、地域社会の活力が低下しつつあります。

人口減少や自宅にお仏壇がない家庭が増加する中、寺院の維持運営、法座活動の維持も困難な状況になっている寺院も組内では存在しています。

お寺とご縁が希薄になりつつある昨今、過疎問題に向き合いつつ、私たち一人ひとりがあらゆる仏事などを通じて次世代にお念仏の声を伝える努力を続ける必要があると思えます。

まず、過疎地域とは法律上どのような地域を指すのか確認しておきたいと思えます。

過疎市町村 過疎地域自立促進特別措置法「以下過疎法という」第2条第1項及び第32条に該当する市町村を指し、人口要件、財政要件ともに該当する市町村。（日高郡由良町が該当）

過疎地域とみなされる市町村 過疎地域市町村を含む合併による新市町村は、過疎地域市町村の要件に該当しなくても、過疎法施行規則に定める要件に該当する場合には過疎地域とみなされます。（過疎法第33条第1項）

過疎地域とみなされる区域のある市町村 過疎地域市町村を含む合併による新市町村は、過疎地域市町村の要件・過疎地域とみなされる市町村の要件ともに該当しない場合でもその新市町村のうち合併前に過疎地域であった市町村の区域は過疎地域とみなされます。（過疎法第33条第2項）

前記の3区域は、過疎法により指定され過疎対策が講じられています。

私の住む日高町は分譲住宅やアパートの増加などにより近隣市町村からの転入による人口増加がある県内でも数少ない市町村です。

過疎市町村には指定されておりませんが、前述の通り海岸筋に所在する寺院がほとんどで、現在あるいは今後において寺院維持などの運営にさまざまな問題が起こりうる状況となることは間違いのないこととしよう。

ご子息などが親と離れて生活される際には本願寺の免物のお仏壇（ミニ仏壇）をお勧めしたり、仏前結婚式や初参式などの案内を行ったりと何らかの方法でお寺との関わりを継続させてゆくことで代々伝わってきたお念仏のみ教えが後々に相続できるものと思えます。



本願寺免物のミニ仏壇

由良町教専寺門徒、片岡三千代さんの投稿「逆縁を仏縁としてお念仏申す日々」が、大阪津村別院発行『MIDOさん』6月号「仏さまの教えを聞く 聞法」欄に掲載されました。

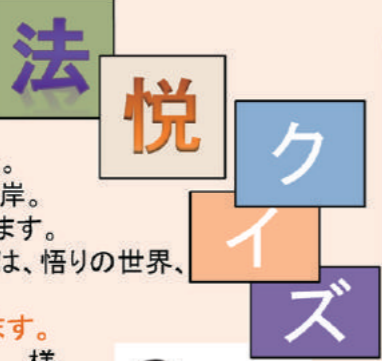
## Q、なぜ、仏壇の「鑿(きん)」を鳴らすのでしょうか？

次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。

- ① 悪霊を追い払う
- ② お勤めするときの合図
- ③ 先祖に自分の存在を知らせる

107号の正解は「② 悟りの世界、お浄土」でした。  
〔解説〕 彼岸は「彼方(かなた)の岸」つまり向こう岸。反対に「此方(こちら)の岸」を此岸(しがん)と言います。此岸は迷いの世界、そこから川を越えて行く彼岸は、悟りの世界、仏さまのお浄土となります。

- 正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。
- |             |             |
|-------------|-------------|
| 日高町 塩崎 隆弘 様 | 由良町 井口 勝 様  |
| 由良町 浜出 和子 様 | 由良町 磯崎 藤代 様 |
| 由良町 坊岡 和美 様 | 由良町 濱上 弘 様  |
| 由良町 吉岡百合子 様 | 由良町 平林 末廣 様 |
| 由良町 平林 道子 様 | 由良町 村上 良子 様 |



ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上、下記までお送り下さい。

〒649-1221  
和歌山県日高郡日高町志賀2988  
妙願寺内 日高組事務所 宛

☆抽選で10名の方に『粗品』を進呈します。

締切 2019年9月20日(必着)  
発表は次号です

「ご文章」のお話し つづき

自力ではいけないの。自力とは、自ら作り上げた善行によって救われようとする事なんだ。善を積むことなので敬虔なことだけど、自分に頼りすぎ、阿弥陀さまの救いを拒むことになるんだ。

「いやいや」と手で口を押さえたけれど、せつかく私を助ける薬も、遮る手が薬を拒否して、薬が効かないことがあるよね。

ヒダカ 薬が、病人の体を離れては効き目がないよね。阿弥陀さまのすべての人を救うというお誓いがあったら、それをそのままに聞けない人に、蓮如さんは、「一心に弥陀に帰命」といつているんだ。

この信心がおこるとどうなるの？

ヒダカ 阿弥陀さまによって、即座に往生が決まるんだ。命おえて後、お浄土に往生することが決まるんだよ。地獄や餓鬼道などに輪廻することはないんだよ。

ひかり じゃ、お念仏は称えなくてもいいの。ヒダカ 親鸞聖人のみ教え以外だと、往生の条件としてお念仏があるんだ。

①回数(京都に百万遍という所があるよ。百万回、南無阿弥陀仏と称えること) ②心を込めて ③お「念」仏。(比叡山での修行)

①、③などがそれぞれ往生の条件となり、「仏様、こんなにがんばったから、後生は頼みますよ」ということになるよ。

ひかり まるで取引ね。じゃあ真宗のお念仏は？ヒダカ 阿弥陀さまに救われる身をよるこび、感謝してのお念仏だよ。「仏様、助けて下さい」と思ってお念仏するのではないよ。私たちのお念仏は、「どうか仏にして下さい」とかいうものではなく、「仏になる身として下さった仏様への感謝の念仏」だよ。感謝だから「念仏」に私たちは「お」をつけ、「お念仏」というんだね。

飛行機に乗るときであるうが、受験や出産の時であるうが、仏様にとって、その人の状態に関わりないんだよ。

真宗のお念仏は仏様への感謝なんだ。

### 日高組実践運動 達成目標！

# 次世代につなげよう 念仏の声を！

## 定期組会で組を挙げて取り組むことを確認

年度末に開催された2018年度の日高組定期組会での組長挨拶の内容を紹介します

#### 主な内容

- 災害時における寺院の役割
- 次世代にお念仏のみ教えを伝える
- 御同朋の社会をめざす運動（実践運動）組織改編の必要性
- 組内寺院内での法務互助制度の創設

#### 組長挨拶

年度末のお忙しい中、2018年度日高組定期組会にご出席いただき誠にありがとうございます。（中略）  
 昨年は9月の台風21号の襲来で、当地方においても甚大な被害を受けられた寺院やご門徒宅がありました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。  
 毎年、台風、豪雨、地震などによる自然災害が日本各地で発生している中で、今後の寺院運営において様々な課題が浮き彫りになっているように思います。葬儀・法事の簡略化や若者の寺離れが進む昨今、日頃からお寺が地域住民の心の拠り所としての安らぎの場となり、非常時には支え合い助け合える人々のつながりがいつまでも続けられる活動が大切だと寺院のあり方をあらためて考えさせられます。  
 さて、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）第3期が今年度始まり、重点プロジェクトの達成目標に掲げました「次世代につなげよう 念仏の声を！」は日高組各教化団体の諸活動を始め、第10期れんげんの開催やキッズサンガ・真宗法座など、一定の成果を収めることができました。次年度までの推進計画であります。子どもやお孫さんの世代にお念仏のみ教えが伝わりますよう引き続き組を挙げて全力で取り組んで参りたいと思います。（中略）  
 本年度・次年度の実践運動の内容について、実践運動の組織改編も現在検討しているところであります。実践運動の推進計画が各教化団体や組内寺院、さらにはご門徒一人ひとりが十分に理解され、日常生活で実践できるよう取り組める機会を確保することが最重要の課題であります。  
 次年度予算に関しまして、実践運動推進費として10万円増額しました。日高地方に於いて過疎化が急激に進行している現状や住職の高齢化などの課題に対応できる体制作りのための予算計上であります。具体的には住職の急な入院や死亡時など、必要に応じて法務を組内寺院で助け合おうとする制度のための資金でもあります。（中略）  
 最後になりましたが、「お念仏の声を相続し、自他共に心豊かに生きる事のできる社会の実現」に努めるため、皆様とともに歩んで参りたいと思います。（2019年3月30日 日高組長 藤本使朗）

### 龍谷大学（大学院）実践真宗学研究科

特任教授 葛野洋明先生

#### ■ 若手僧侶のご法話

日高組の即生さまにて、若手の僧侶がご法話をさせていただきました。  
 京都にあります宗門校の龍谷大学から、大学院生が実習にて寄せていただき、即生さまのご本尊の御前にて、ご門徒さまがお聴聞くださるご法座でご法話をお取り次ぎさせていただきました。ご縁をたまりました。

#### ■ 緊張マックス

これから布教に活躍しようとして志を立てた若手の僧侶たちが、15分ほどのご法話をお取り次ぎさせていただきました。  
 人前でお話しすることも初めてという院生もいます。一生懸命練習してきたとはいえ、緊張が最高潮に達します。もう緊張マックスです。話し手が緊張しているの、聞いていた私たちも手に汗握るような気持ちになりました。

#### ■ ご法話の要

わずか15分といってもご法話ですから、単なるお話しではありません。お聖教のお言葉を「ご讚題」に頂戴し、そのおこころを解りやすく説き述べて、自分の体験などを通してお味わいを述べます。しかもお聞きくださる方々にも共感していただけるようにと、心配りを忘れてはなりません。  
 何よりご法話は、阿弥陀さまのお救いを聞きよることで、ほめたたえる「仏徳讃嘆」です。話し手が、阿弥陀さまのお救いを聞きよることで、その阿弥陀さまのお救いを自らの体験や経験を通して、お聞きくださる方々の方とともに阿弥陀さまを敬い仰がせていただくのがご法座です。

## 若手の僧侶とともに阿弥陀さまを仰ぐ



【龍谷大学大学院実践真宗学研究科の学生による法話】  
本願寺ホームページより引用

#### ■ ともに同じ

若手の僧侶は人生経験が豊富ではありません。わずかな体験や経験のなかから、ご法話に用いる話材を選び、磨き上げなければなりません。なかなか難しいことです。お聴聞くださる方々は、人生経験豊かな先輩がいらつしやいます。多くの経験を積んだ方々が、汗をかきながらお取り次ぎするのを「そうそう、そんなこと、私にもあったよ」とうなずきながら聞いてくださいます。  
 ご法話はライブです。お聴聞くださる方々が「うん、うん」とうなずいて聞いてくださると、お話しがトントンと進みます。お聴聞の達人は、お話しが慣れていくかどうか、うまいかどうかではなく、お話しを

### 門徒心得

## 「お仏壇の鑿（きん）はいつ鳴らす？」

仏壇のあるお宅であれば、必ず置かれてある「鑿（きん）」。  
 なぜだか仏壇の前にしたとき、また、手を合わせるだけじゃ物足りないなど、ついチーンチーンと鳴らしてしまう方、おられるんじゃないでしょうか。  
 とくに、「ご先祖様に自分が来たよと知らせるんだ。」と語る方も現れます。しかしながら、お浄土に生まれたご先祖様は、いつも私たちを見ていてくださいます。私が知らせなくても、いつも向き合ってくださいとおられます。また、「鑿（きん）」は神楽などの舞で使われるように、民族宗教的に言えば、その音には多分に霊力があつて、悪霊を追い払う効果があるとされています。  
 もし悪霊がいるとしても、仏壇に御安置している本尊の阿弥陀仏がひれ伏せてくれ逆私たちに守る善神に変えてくださいます。  
 「鑿（きん）」はお勤めするときの合図として鳴らす仏具です。  
 忙しく日々を送られ、なかなかお仏壇の前で過ごす時間がない方もおられるかもしれません。そんな時こそ、「鑿（きん）」を鳴らし、短いお経と念仏、回向句だけでも上げましょう。それもお勤めなのです。  
 （北山）



#### ■ 大きなお育て

若手の僧侶にとって、ご門徒さまの前でお取り次ぎさせていただきます、それは本当に大きなお育てを頂戴することでした。  
 一生懸命にしている若手の僧侶が、聞くのも、新鮮な思いを感じます。何より阿弥陀さまのお救いを聞きよるこぼせていただいていたのです。ともに大きなお育てを頂戴しました。  
 日高の地で、ご法話のデビューをした若手の僧侶が、日本全国、いや世界に羽ばたいていきます。



「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）スローガン

# 結ぶ絆から、広がるご縁へ

— From tying bonds to great encounters —



善宗寺降誕会(日高町志賀)

宗祖親鸞聖人の生誕をお祝いする法座「降誕会(こうたんえ)」が4月下旬から組内各地で勤められました。由良地区・衣奈地区では地区寺院合同での法要が毎年行われています。その他の地区では単独での法要や永代経法要などの併修により宗祖のご誕生をお祝いしています。

日高地方で少子高齢化が急速に進むなか、子ども若者にも大勢お参りしていただき、おみのりを次世代に伝えようと、寺院それぞれで嗜好をこらした工夫をしています。

左の写真は善宗寺さんでの降誕会の様子です。この日のために帰省された家族をはじめ、地元の子ども達、父兄、祖父母らが一堂にご参拝されており、仏事に積極的にお参りするだけでなく、ご家族にも参拝を呼びかけることの必要性をあらためて考えさせられます。

なお、二〇二三年には、宗祖ご誕生八五〇年慶讃法要がご本山西本願寺で勤まることも決まっていますのでお誘い合わせご参拝させていただきます。

### 各地区で降誕会が勤まる

## 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 日程が決まり！高札が立てられる



このほど令和5年に勤修される親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要の期日について、下記の通り決まりましたのでお知らせします。

京都西本願寺の堀川通り沿いに法要をお知らせする高札が立てられました。

法要の詳細などは現在のところ未定ですが、決定次第掲載いたします。

※立教開宗 親鸞聖人が浄土真宗の本典「教行信証」を著された元仁1(1224)年が浄土真宗立教開宗の年とされています。

### 親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要 立教開宗800年

Joint Celebration  
850th Anniversary of Shinran Shinin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

#### 法要期日

2023(令和5)年		第3期	4月24日(月)~4月29日(土)
第1期	3月29日(水)~4月3日(月)	第4期	5月6日(土)~5月11日(木)
第2期	4月10日(月)~4月15日(土)	第5期	5月16日(火)~5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day 浄土真宗本願寺派  
親鸞聖人のご命日です 龍谷山 本願寺  
ご参拝ください

### 100歳のお誕生をご門徒とお祝い 即生寺前坊守 藤本壽賀子さん

日高町志賀、即生寺前坊守の藤本壽賀子さんが今年1月、満百歳を迎えられました。

大正8年1月5日和歌山市生まれで、即生寺第三世寛暲師の坊守として20歳で入寺得度され、80歳まで月忌参りを欠かさず、数年前まで法座に出勤されるなど僧侶・坊守として自坊の護持に勤められました。

このたびご門徒の発起により本堂で役員はじめ仏教婦人会のメンバーが集まり誕生祝いの宴席が催されました。

嫁入り当のご苦勞話や前住職の思い出話などで終始賑やかに懇談できました。

どうぞこれからもお元気で過ごしてください。



### 報恩講日程

10/19~20	信行寺(衣奈)
10/26~27	円明寺(小引)
10/27	浄明寺(大引)
11/3	覚性寺(吹井)
11/9~10	教専寺(阿戸) 西教寺(衣奈)
11/17	光専寺(横浜)
11/20	円行寺(小浦)
11/30~12/1	蓮専寺(里)

2019年確定寺院のみ掲載  
ご近所・ご家族お誘い合わせお参りしましょう

## 食事のごとば

食後のことば 合掌

- 尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。

(同意) おかげで、ごちそうさまでした。

食前のことば 合掌

- 多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。
- (同意) 深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

## 実践 日高組実践運動推進委員会

### 私たちのちかい・食事の言葉を 家族全員で唱和しましょう!

私たちのちかい

一 自分の殻に閉じこもることなく、穏やかな顔と優しい言葉を大切にします。微笑み語りかける仏さまのように。

一 むさぼり、いかり、おろかさ、に流されず、しなやかな心と振る舞いを心がけます。心安らかな仏さまのように。

一 自分だけを大事にするのではなく、人と喜びや悲しみを分かち合います。慈悲に満ちみちた仏さまのように。

一 生かされていることに気づき、日々、に精一杯つとめます。人びとの救いに尽くす仏さまのように。

# 日高組通信

## ☆行事報告

### ◎寺族婦人会報恩講・総会

3月5日、日高町志賀の妙願寺で開催され、寺族らが集まり、会所寺院の楠原住職より、「これからのお寺の役割」の講題で問題提起を含めてお取り次ぎをいただきました。

### ◎日高組定期組会・組役員物故者追悼法要

3月30日、由良町網代念興寺にて2018年度の定期組会を開催しました。組会に先立ち、住職・寺族・責任役員・門徒総代物故者の追悼法要が勤められ、妙願寺楠原住職より、「私たちのちかいを受けて」の講題でお取り次ぎされました。組会では僧俗の組会議員により今年度事業報告、決算報告、新年度事業計画、予算案等の審議が行われ、承認可決しました。(4面に関連記事)

### ◎門徒推進員養成連続研修会

第2回れんけん(連続研修会)が4月13日、由良町阿戸の教専寺で、第3回れんけんが6月1日、由良町大引の浄明寺でそれぞれ開講されました。声明・教学・話し合い法座での研修を受けました。

### ◎門徒総代会総会・研修会

今年度門徒総代会総会研修会が4月20日、日高町比井長覚寺にて開催され、事業報告・決算報告・事業計画・予算案が審議されました。また、門徒総代会の規約変更案が上程され、承認されました。

### ◎仏教婦人会総会・研修会

今年度の仏教婦人会総会が4月29日、御坊市の本願寺日高別院で開催され、事業報告・決算報告・事業計画・予算案が審議されました。

## ☆行事予定

### ◎日高組仏教壮年会30周年記念行事

〈念仏奉仕団〉

平成元年に結成された仏教壮年会連盟がこのほど30周年を迎え、令和元年となる節目の今年、7月11日から1泊2日の予定で日高組仏教壮年会念仏奉仕団約30名が参加して、本山での奉仕作業をおこないます。

### ◎門徒総代会前期研修会

7月15日、前期研修会が由良町里の蓮専寺にて開催予定、「浄土真宗の教章」より本尊「阿弥陀如来」(南無阿弥陀仏)のテーマで衣奈西教寺の藤田真雄師が講義されます。

### ◎日高組キッズサンガ(子どものつどい)

7月27日(土)由良町吹井の覚性寺にて第13回目となるキッズサンガを開催いたします。詳細はお手次の寺院に案内が届く予定です。お問い合わせ下さい。

### ◎和歌山教区主催児童念仏奉仕団

毎年夏休みのこの時期に教区主催の児童念仏奉仕団が開催されます。

今年7月23日・24日で、京都西本願寺で清掃奉仕やレクレーションを行います。2日目は京都水族館で楽しく過ごすこととなっております。参加希望者はお手次の寺院または日高組事務所までご連絡願います。

### ◎第3ブロック門信徒総研修会

9月1日(日)紀南組担当により、田辺市の紀伊田辺シティプラザホテルにて開催予定です。日高組で大型バス一台を配車しますので多くのご参加をお願いいたします。

## 読者の声

※六十九才になった私は、やっと何事にも感謝できるようになりました。ひかりの本を見るたびに勉強になります。  
※朝に、夕に 南無阿弥陀仏。阿弥陀様のおかげです。  
※久しぶりにハガキを出してみました。ひかりが届くと先にクイズを見るのですが楽しみにしています。

※仏教婦人有志で会員の交流を強めることもあり、彼岸会に莓大福を作りお供えさせていただきました。ことにしました。

※八十二歳、感謝の日々です。  
※ひかり、楽しみに読ませて頂いています。やっとな春が来た日々を感じています。  
※平成から令和へ。新しい時代を元気に迎えられることに感謝。平和な年でありますように!!!

※今年もお彼岸をさせて頂き、お参りさせて頂きました。あらためてお彼岸の意味を教えて頂きありがとうございます。これからもお念仏を心がけ日々の喜びにさせて頂きます。

※毎回法悦クイズを楽しみにしています。色々なクイズを見てとても勉強になっています。次回も楽しみにしています。

※いつもひかりを拝読して知識を広めたいと思っています。

※お彼岸の中日に地元浄明寺さんに参拝させて頂きました。住職様と共に参拝の方々とお経をとえさせて頂き心が洗われる思いでした。お彼岸の中日は太陽が真東から真西に沈みます。この日に沈む太陽を拝む事は、西にある極楽浄土に向かって拝むことになるのだそうです。常に「ナノアミダブツ」を心の中でとなえさせて頂き、我が身を振り返り、御先祖様に感謝の気持ちを忘れずいたいなあと思っています。

ひかり編集委員会(広報部)では読者の皆さんからの投稿を募集しています。「法悦クイズ」には是非チャレンジしましょう。同時にご意見ご感想を添えていただければ幸いです。